

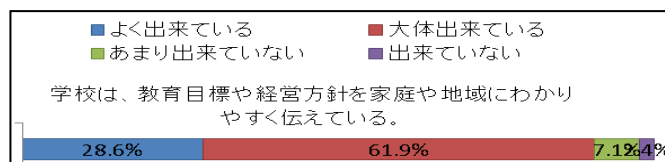
平成 30 年度 学校評価アンケート(前期) 結果より

京都市立高雄中学校

7 月下旬にご協力いただいた学校評価についての「保護者アンケート」と「生徒アンケート」の集約結果がまとまりました。

今年度は、学校評価アンケートを昨年度と同じ質問項目で実施し、生徒の実態・傾向を分析しました。昨年度の結果と比較しながら分析した概要を報告いたします。また、分析結果を今後に役立てていきたいと考えています。

○保護者アンケートの質問事項「1 学校教育目標や経営方針」,
「2 学校の様子」等については、保護者の約 90.5%が「できている」との回答で実現度も高く、学校からの情報はおおむね伝わっていると思われます。



○『学校生活について』昨年度の結果と比較して

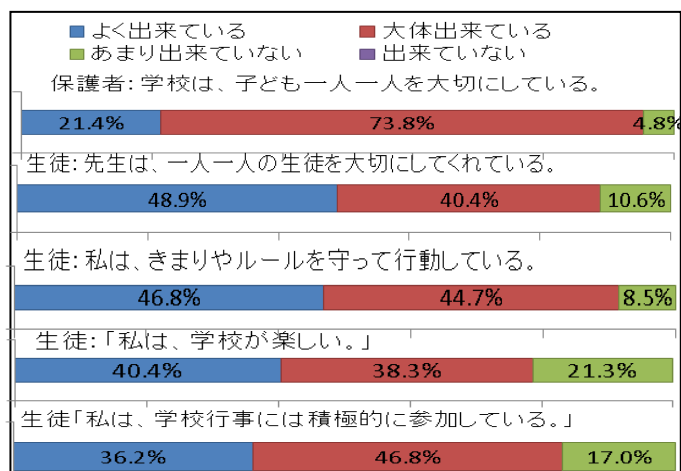
- ・「4 学校は、子ども一人一人を大切にしている。」
「2 先生は、一人一人の生徒を大切にしてくれている。」の項目は、昨年度同様高い数値を示しています。
- ・「11 きまりやルールを守って行動している。」
「12 遅刻しないように意識して登校している。」の項目は、9割以上の生徒が「できている」との回答で実現度も高くなっています。

気になる結果が2項目

- ・生徒アンケート「1 私は、学校が楽しい」の項目で
「できている」昨年度前期9割以上 → 今年度 78.7%
あまりできていない21.3%

- ・生徒アンケート「7 私は、学校行事に積極的に参加している。」の項目で
「よくできている」昨年度約5割 → 今年度 36.2%

子どもたちは、学校のきまりや時間を守り、人に迷惑をかけることのないように学校生活を送っています。しかし、学校生活を自ら楽しもうとする積極性に欠けるところが見受けられます。全教職員で子どもたちの意欲を引き出せるようなきっかけづくりを心がけ、子どもたち自らの行動が「楽しい学校」づくりにつながっていくような教育活動を継続していきたいと思います。



○『学習について』昨年度の傾向と比較して

- ・「7 子どもは、家庭学習に自ら取り組んでいる。」 「5 私は、毎日家庭学習をしている。」の項目は、昨年度同様に両者とも一番実現度が低かった項目です。
両項目を昨年度の結果と比較すると

		平成 29 年度前期	平成 29 年度後期	平成 30 年度前期
保護者	できている	52.6%	67.6%	56.1%
	(よくできている)	(2.6%)	(16.2%)	(22.0%)
	できていない	5.3%	13.5%	7.3%
生徒	できている	61.0%	55.0%	66.0%
	(よくできている)	(19.5%)	(27.5%)	(27.7%)
	できていない	12.2%	15.0%	8.5%

家庭学習の定着の問題については、以前から本校の課題になっているところです。自学自習の定着を図る意味から家庭学習をするきっかけとしてここ数年継続してきた「積み上げ学習」(家庭学習課題)を実施しています。その成果もあってか少しずつですが家庭学習の定着が図られてきています。学校から出された課題をやり遂げることはもちろんですが、授業の復習や予習に取り組み自学自習の幅を広げていってほしいと思います。また、新聞や本を読む機会を増やし語彙力をつけていくことが必要だと考えます。

- ・「5 学校はわかりやすい授業を行っている。」 「4 先生は、わかりやすい授業をしてくれている。」の項目を昨年度の結果と比較すると

		平成 29 年度前期	平成 29 年度後期	平成 30 年度前期
保護者	できている	80.4%	83.8%	82.9%
	(よくできている)	(10.8%)	(10.8%)	(14.6%)
生徒	できている	87.8%	77.2%	91.5%
	(よくできている)	(39.0%)	(31.6%)	(44.7%)
	できていない	12.2%	22.8%	8.5%

教員が常に子どもたちにとってわかりやすい授業を心がけてきた成果がでてきていますが、「できていない」の数値に注目し、今後さらに、子どもたちが「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実感できる授業改善に努めていきたいと考えます。

○『生活について』昨年度の傾向と比較して

・「家庭であいさつができて」「朝食をとっている」「家族とのふれあいや対話」の項目は、昨年同様「できている」が9割以上と数値が高く、実現度も高くなっています。保護者の方が子どもたちの生活をしっかりと支えていただいていることがわかります。

・「地域や学校であいさつをする」の項目については、気になる傾向が見られます。

		平成 29 年度前期	平成 29 年度後期	平成 30 年度前期
保護者	よくできている	21.1%	27.0%	16.7%
	大体できている	71.7%	62.2%	69.0%
	できていない	7.8%	10.8%	14.3%
生徒	よくできている	61.0%	70.0%	48.9%
	大体できている	36.6%	22.5%	29.8%
	できていない	2.4%	7.5%	21.2%

昨年度までは、生徒の「よくできている」「できている」の数値が高かったのですが、今回は、「よくできている」が5割を下回っています。約2割の生徒が「できていない」と答えています。

家庭ではしっかりあいさつができていますが、地域や学校でのあいさつができていないようです。あいさつは、社会生活を営む一員として必要なことであり、将来のためにもきちんと身に付けさせる必要があると感じます。

○『困ったことや悩みの相談について』

・「学校の先生に相談できる」保護者 59.5% 生徒 80.9%
「相談できる友人がいる」保護者 78.6% 生徒 87.2%
となっています。子どもたちが自分の困りごとや悩みを、先生や友人に相談できる関係があることは心の安定・成長にとって大切なことです。この信頼関係を大切に継続していける関係づくりに努めていきたいと考えます。

その一方、

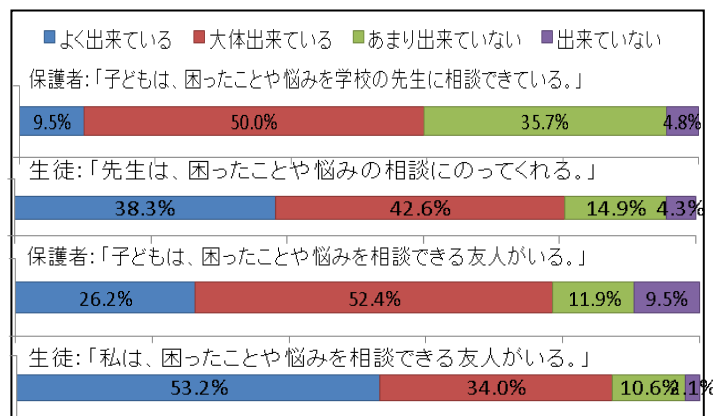
・保護者「子どもは、困ったことや悩みを

「11 先生に相談できている」 あまり出来ていない+できていない 40.5%

「12 相談できる友人がいる」 あまり出来ていない+できていない 21.4%

生徒 「9 先生は困ったことや悩みに相談にのってくれる。」 あまり出来ていない+できていない 19.2%

「10 困ったことや悩みを相談できる友人がいる。」 あまり出来ていない+できていない 12.7%



教職員は一人一人の子どもを大切にしながら丁寧に接するように心がけていますが、困ったことや悩みを先生や友人に相談できずにいる子どもがいることを真剣に受け止めて、さらに子どもの変化や様子に目を配る必要があります。また、教育相談等でゆっくり話をする機会を作って相談のきっかけとしたり、時には、スクールカウンセラーへの相談を促したりすることも大切なことだと考えます。今後、子どもたちが、自分の悩みや自分を語ることのできる学校づくりを心掛けていきます。